

大腸 -

2013

メンバー紹介

専任

教授 齊田芳久

講師 榎本俊行

助教 高林一浩

大辻絢子

- - -

長尾

石井智貴

2013年大腸癌初回手術症例 検討

2013年大腸 - 手術症例

196症例

初発大腸癌 132例

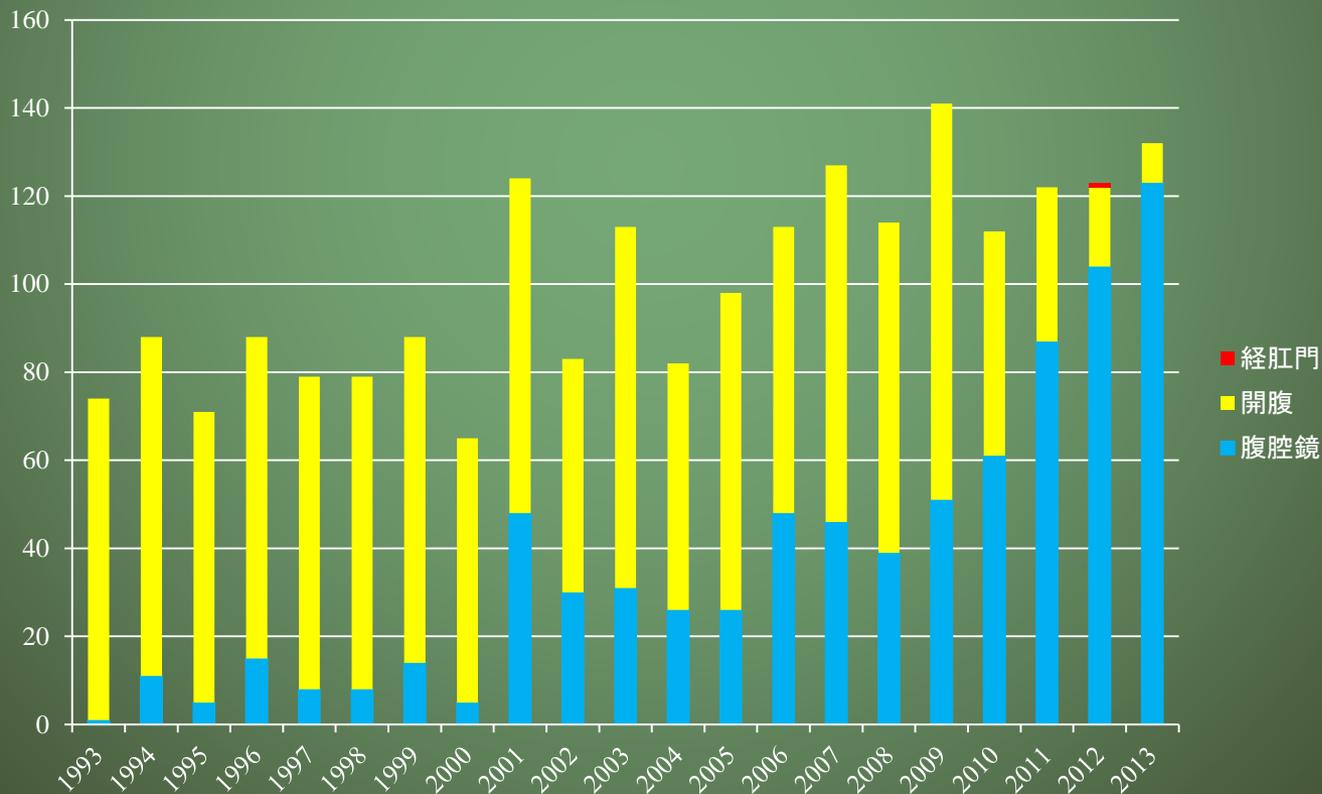
他手術（人工肛門、イレウス、小腸腫瘍など） 64例

大腸癌初回手術症例

132例

腹腔鏡下手術 LAC 123例 93.2%

開腹手術9例 6.8%



Stage別症例数

Stage 0	3例 (2.3%)
Stage I	33例 (25.8%)
Stage II	38例 (29.7%)
Stage III a	23例 (18.0%)
Stage III b	6例 (4.7%)
Stage IV	25例 (19.5%)

縫合不全G3症例 検討

6例(4.5%) /132例

T-colon : 1例、S-colon : 2例、Rs : 1例、Rb : 2例

腹腔鏡手術

開腹移行

5例(4.1%) /123例

4例 癒着

剝離困難

解剖固定困難

1例 術中合併症

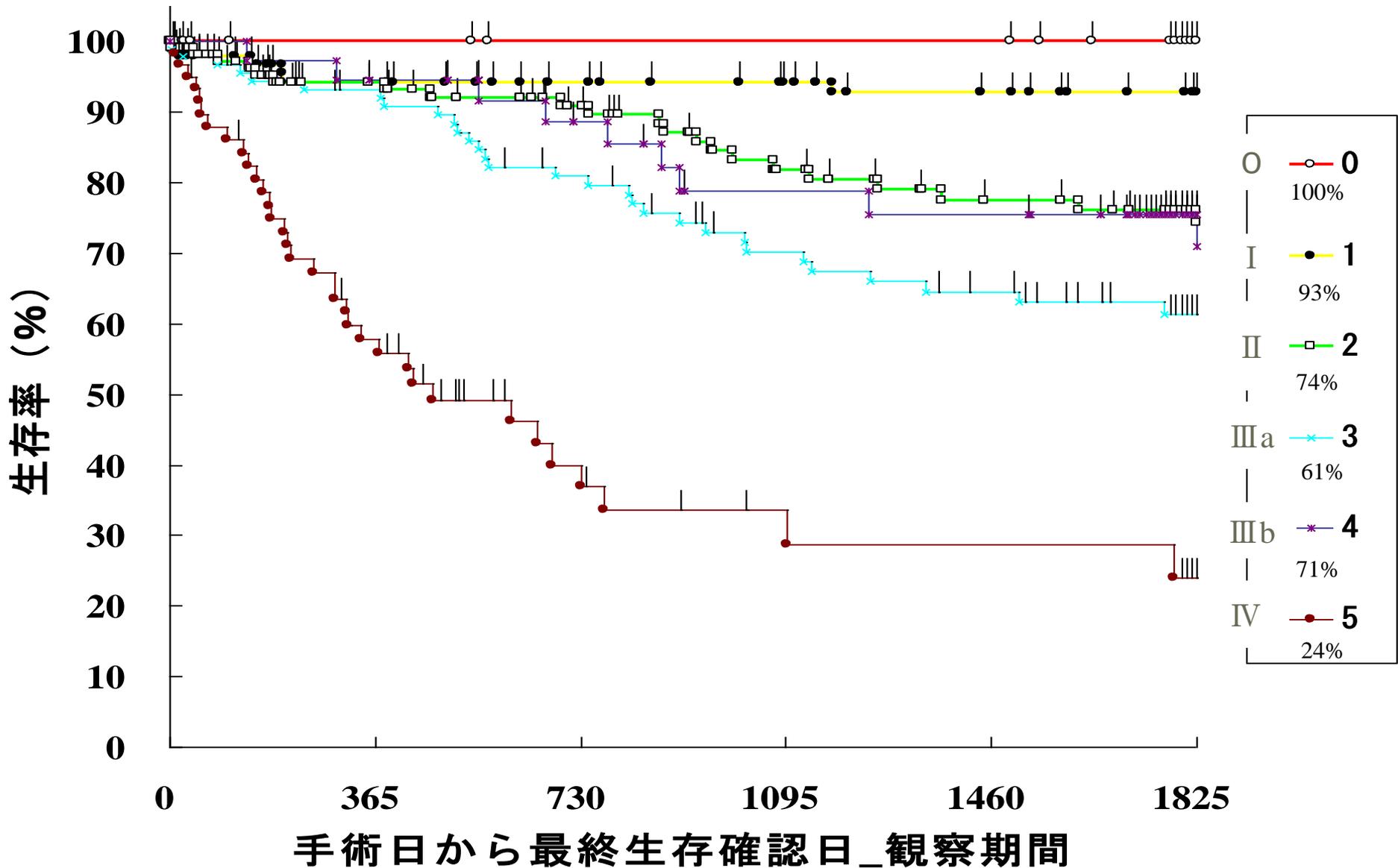
術前金屬

留置例

10例(7.6%) /132例

9例 腹腔鏡手術 施行

大腸癌



論文

- 邦文原著:3

 - 大腸ステントBTS症例における大腸閉塞スコアCROSSの有用性の検討

 - 大腸狭窄に対する大腸用Niti-S stentの成績

 - 1%クロルヘキシジンアルコール液による術野消毒の安全性に関する前向き検討

- 総説:12

 - 外科医になるべき3つの理由

 - 大腸癌狭窄に対する大腸用ステント留置術

 - 大腸狭窄に対するステント治療の現状と展望

 - 腸閉塞を解消する大腸ステントによる最新治療

 - 大腸ステント留置術と看護上の留意点

 - 下部消化管狭窄に対するステント留置術

 - レジデント・ノート 専門医がわかりやすく解説 Q.大腸ステントが2012年から保険収載されましたが、その有効性・安全性は？

 - 手技の解説 大腸ステント

 - 直腸脱に対する腹腔鏡下手術

 - 大腸狭窄に対するステント治療の現状と展望

 - 大腸憩室はどのような病気ですか？ Q&A

 - 大腸癌イレウスの対策 -経肛門的イレウス管留置vs大腸ステント留置-

- 症例報告 : 2

腸重積を伴う小腸inflammatory fibroid polyp を単孔式腹腔鏡下術で切除した1例
直腸難治性縫合不全瘻孔部をOTSC®Systemで内視鏡的に閉鎖した1例

- メディアなど : 2

病院の実力 大腸がん患者の早期復帰 金属ステント治療で支援
書評

- 講演 : 13

- 司会・座長 : 27

- 主題発表 : 4

齊田芳久教授就任祝賀会

2013年9月6日 グランドハイアット東京にて開催しました。
330名の方々にご参加いただきました。この場を借りて御礼
申し上げます。



主催研究会

- 研究事務局:

大腸ステント安全手技研究会

代表世話人 齊田芳久

URL: <http://colon-stent.com/>



The screenshot shows the homepage of the research society. At the top, there is a logo and the title '大腸ステント安全手技研究会'. Below this, there is contact information for the research office: '大腸ステント安全手技研究会事務局', '東邦大学医療センター大塚病院 外科', '〒153-8515', '東京都目黒区大橋2-17-6', 'TEL 03-3481-7316', 'FAX 03-3469-8506'. A navigation menu on the left includes 'トップページ', '第1回研究会(終了)', '第2回研究会(終了)', '第3回研究会', 'Wall Flex前向き研究', 'Niti-S前向き研究', '大腸ステント安全確保のためのミニガイドライン', 'CROSS:大腸閉塞スコア', '活動報告', and 'スケジュール'. The main content area features two images of stents and a 'お知らせ' (Notice) section. The notice includes a '500例達成' (500 cases achieved) badge and text stating that the registration for the Wall Flex study has ended with 518 cases, and the Niti-S study has started. It also mentions a special lecture by Dr. Jeanin van Hoofst at the 3rd meeting.